

十三仏青石塔婆



- 種別
有形文化財
考古資料
- 指定年月日
昭和 50 年 11 月 11 日
- 所有者・管理者
とうこういん
東光院
(上口 1-108-2)
- 所在地
とうこういん
東光院
(上口 1-67)

総高 217 センチ、幅は上部 46.5 センチ、下部 48.5 センチ、厚さは上部 5.5 センチ、下部 5.5 センチの
りよくていへいがんせい 緑泥片岩製の板石塔婆で、かきつ 嘉吉2年（1442年）の銘
があり、たいぞうかいだいにちによらい 主尊に胎蔵界大日如来が刻まれ、その下に
あみだ 三行配列で阿弥陀、しゃか 釈迦、ふどう 不動、やくし 薬師など 12 の仏
名がぼんじ 梵字で並び、100 名近い建立者の名前が刻まれて
ています。この板碑は、十三仏青石塔婆としては、
国内でも有数の大きさです。